

学校教育目標「故郷を愛し、未来を切り拓く力を備えた児童・生徒の育成」



養徳の森

令和6年3月19日（火）
学校だより 第11号
玉陵中学校長 松本 恒明

「大好き 玉陵」

「命」「人」「心」「物」を大事にする生徒に、そして、「自立貢献」

希望を胸に新たな旅立ち

～感動あふれる卒業式～

3月8日（金）、第66回本校卒業式を挙行しました。今年度の卒業生は計55名で、私から一人一人に卒業証書を授与しました。卒業生のみなさんの表情から、玉陵学園で過ごした日々への充実感と未来に向けての決意が伝わってきました。

私の式辞では、最初にコロナ禍の経験や能登半島地震から当たり前前に生活することの尊さと大切さについてお話をしました。次に本年度最上級生として本校の輝きをたくさん創ってくれたことへの感謝の思いを伝えました。最後に、目標を持ち挑戦することや出会いを大切に感謝の心を持つことについて旅立ちに向けての言葉を送りました。

送辞では、在校生代表が卒業生への感謝の思いと卒業生がこれまで築いてきた道をさらに自分たちが前に進めていく覚悟を述べてくれました。

答辞では、卒業生代表が仲間と共に励んだ行事や生徒会活動などこれまでの思い出を懐かしく語るとともに、これまで支えてくれた家族への感謝の思いを伝えてくれました。心がこもった答辞に会場中が大きな感動に包まれました。

卒業生のみなさんのこれからのご活躍を祈念申し上げます。また、在校生のみなさん、先輩たちの頑張りを受け継ぎ、新たな玉陵中学校をみんなで創っていくことを期待しています。

小学校に読み聞かせに行きました！

2月27日（火）朝活動の時間に中学生による小学生への絵本の読み聞かせを行いました。学習委員会の呼びかけで計24名の子どもたちが参加しました。

子どもたちは、緊張しながらも小学校の各学年の児童に応じて心をこめて読み聞かせを行ってくれました。場面を想像しやすいように動作を入れたり声色を変えたりするなど様々な工夫もうかがえました。

どのクラスも読み聞かせを聞いている児童の表情が生き生きとしており、楽しんでいる様子が伝わってきました。児童からの感想発表もあり、中学生にとっても大きなやりがいを感じる機会となったようです。

玉陵学園のすばらしさを改めて実感する機会となりました。



1年間ありがとうございました

3月22日（金）はいよいよ修了式です。保護者の皆様方・地域の皆様方、1年間大変お世話になりました。感謝申し上げます。

